

病院でのチーム医療 における歯科の係わり に関する調査」概略

日本歯科総合研究機構調査結果より

昭和大学口腔ケアセンター
向井 美恵

「目的」

各病院において実施されているチーム医療における歯科職種の関与の実態を把握し、今後の施策提言を行うための基礎資料とすること。

「対象および方法」

平成22年10月現在 独立行政法人福祉医療機構WAM NETに公表されている全病院8,818病院を対象とし、11月末に調査票を郵送した。有効回答は2,671病院で、有効回答率は30.5%であった。調査は日本歯科総合研究機構が実施した。

図1. 各チーム医療設置割合(n=2,671)

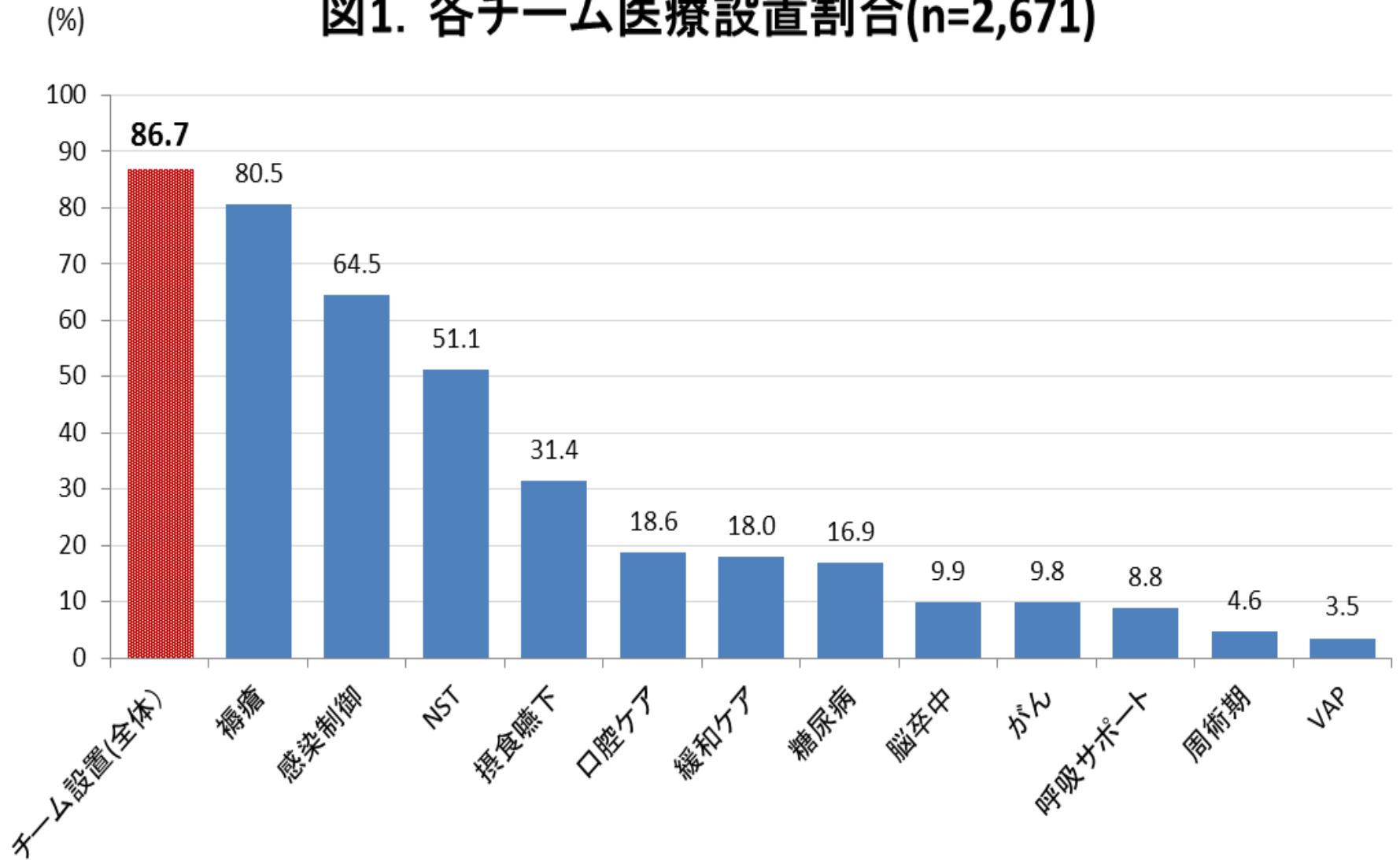


図2. 歯科標榜病院におけるチームへの歯科職種関与状況
(n=702)

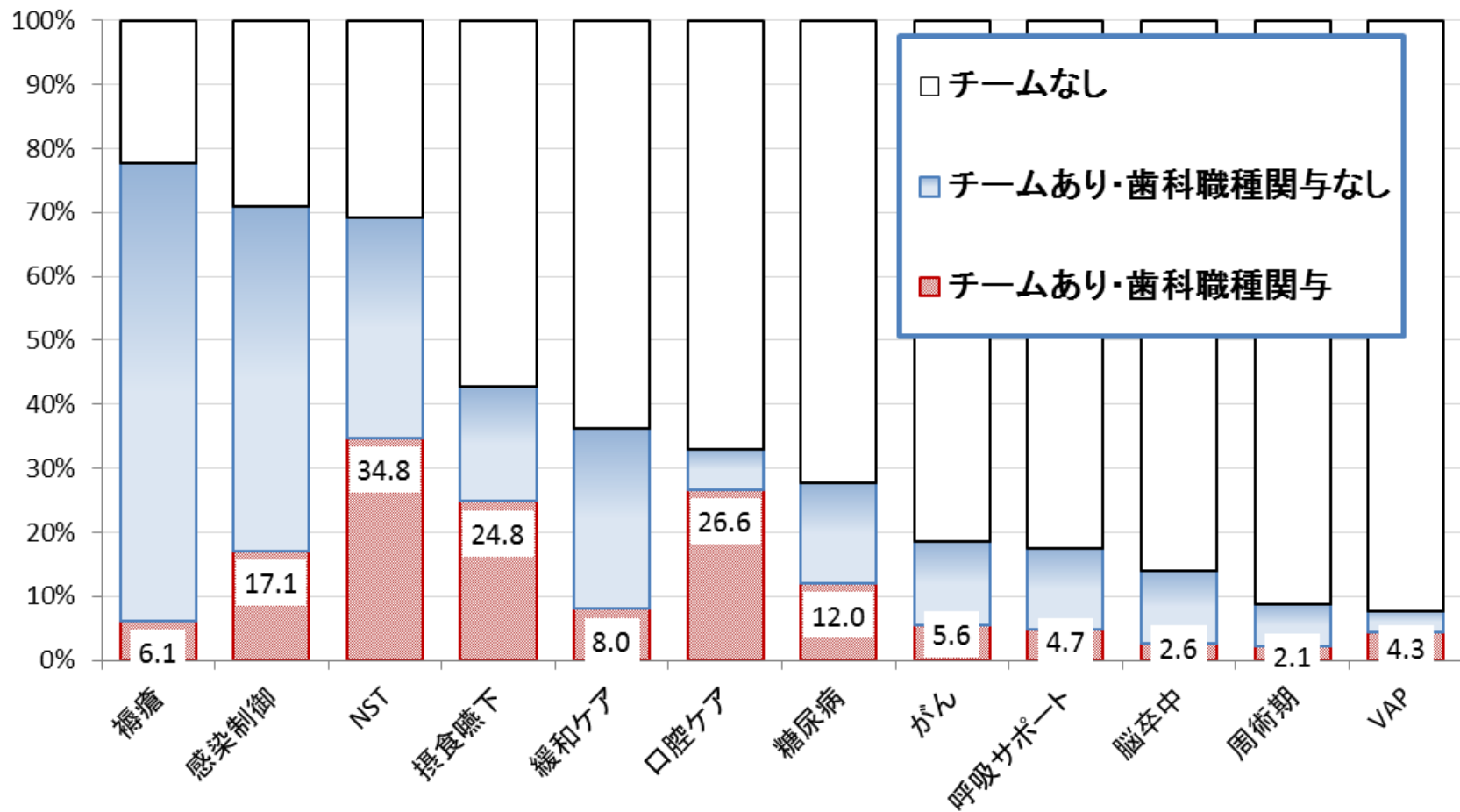


図3. 口腔ケアを含めた歯科的 management 実施状況 (n=2,671)

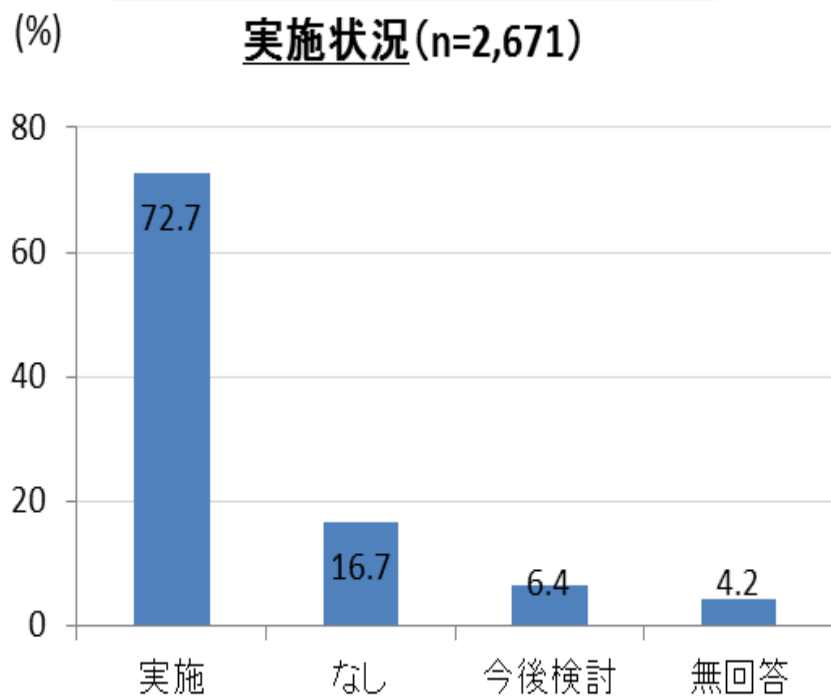
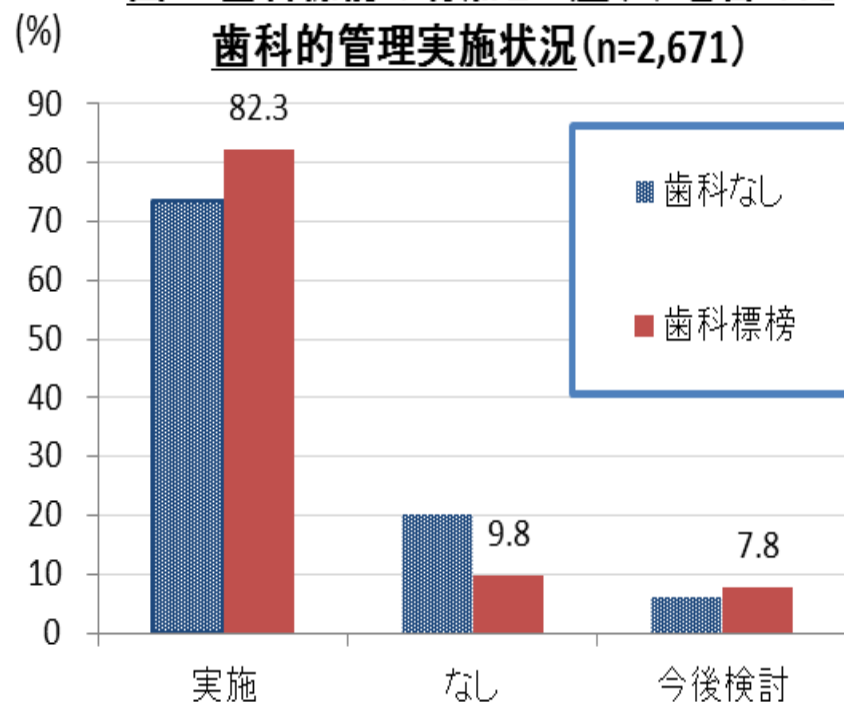


図4. 歯科標榜の有無と口腔ケアを含めた歯科的 management 実施状況 (n=2,671)



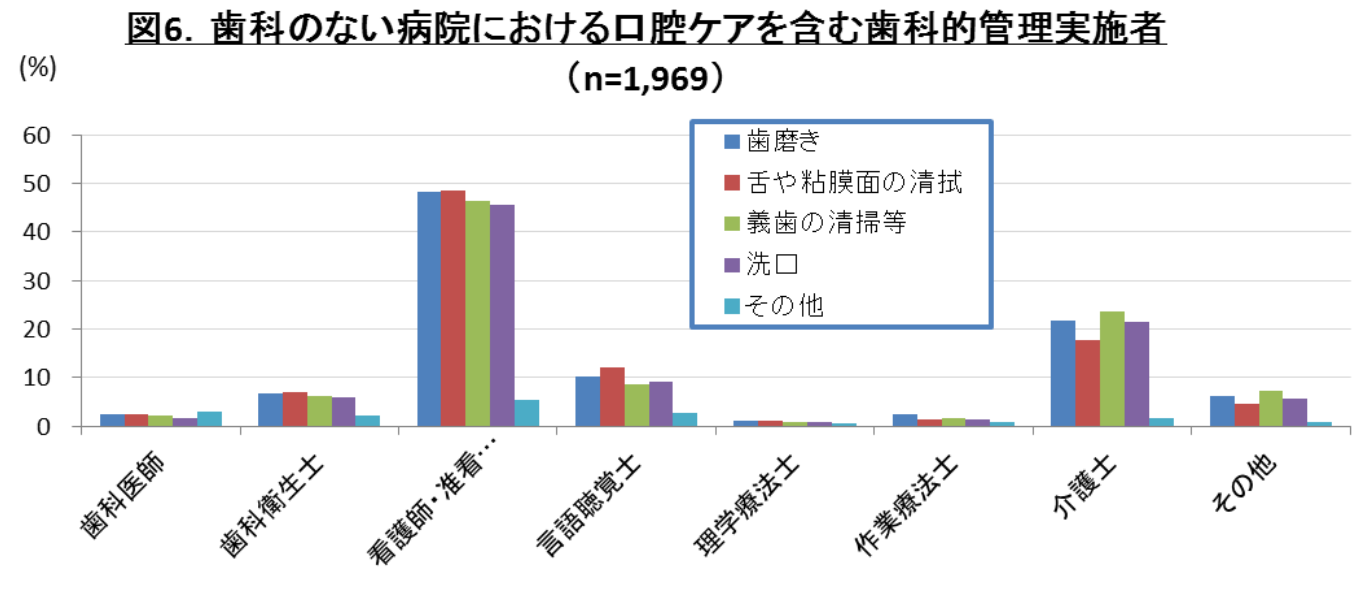
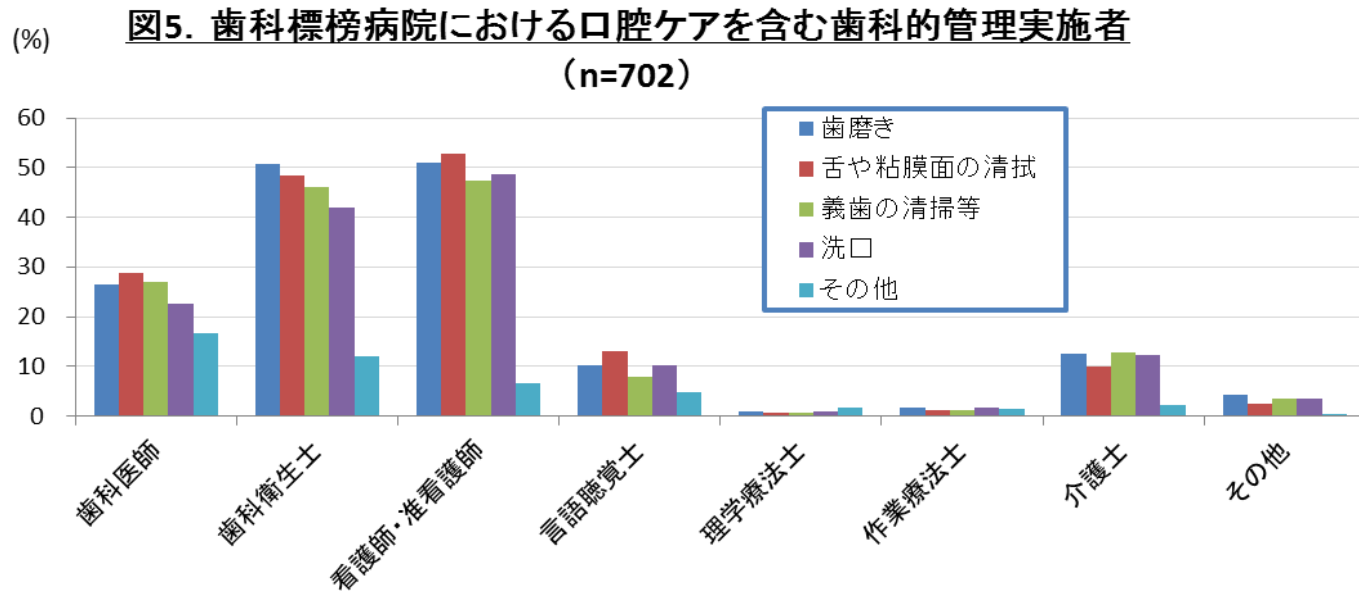


図7. 病院と地域歯科医師会との連携

(n=2,671)

(%)

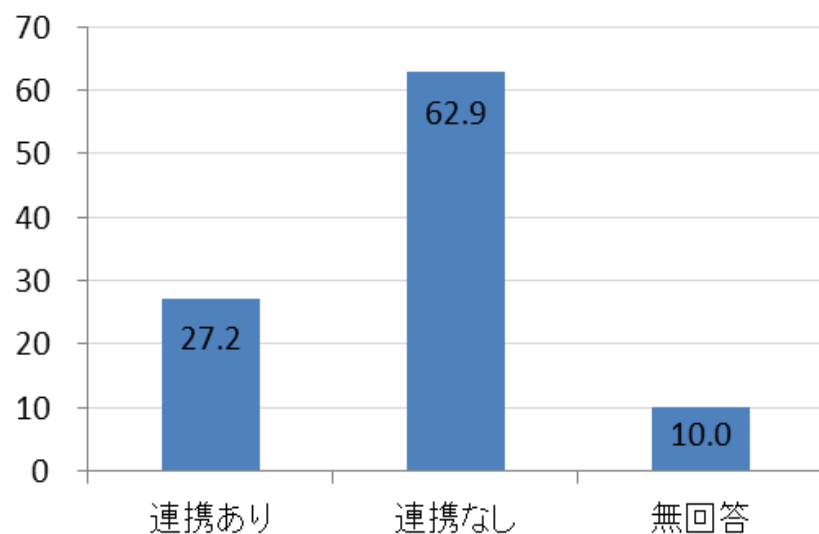
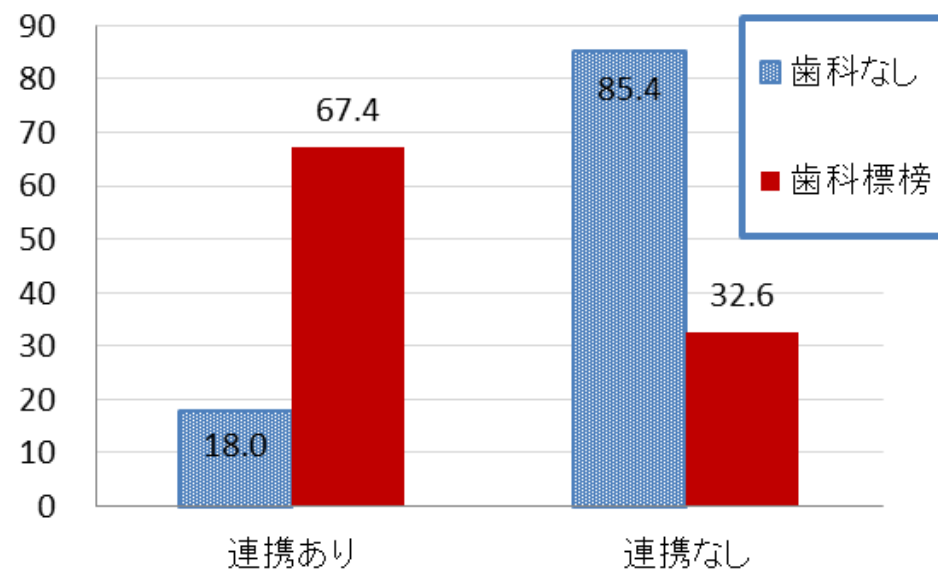


図8. 歯科標榜の有無でみた病院と地域歯科医師会との連携 (n=2,671)

(%)



「まとめ」

患者中心の質の高いチーム医療を推進していくためには、専門領域に基づいた医科と歯科の連携が不可欠である。

特に歯科のない病院の現状からは、地域歯科医師会を含めた医科—歯科連携のチーム医療を推進していかなければならない。そのため、歯科職種が配属されていない病院に、歯科医師および歯科衛生士を配置するための**総合的な施策**が必要である。

また、歯科標榜のある病院においても医科—歯科連携をより一層強化するための施策、例えば、診療報酬で評価する等も必要である。